

令和6年度 近畿農政局農業農村整備事業等事業評価技術検討会（第1回）  
事前評価議事概要

- 1 日 時：令和6年5月23日（木）14:50～16:00
- 2 場 所：滋賀県東近江合同庁舎 別館2階会議室
- 3 対象地区：国営農地再編整備事業「東近江地区」
- 4 出席委員：藤原 正幸 京都大学大学院農学研究科教授  
久野 秀二 京都大学大学院経済学研究科教授  
岩間 憲治 滋賀県立大学環境科学部准教授  
川村 幸子 京都府生活協同組合連合会理事

5 議 事：

令和6年度近畿農政局農業農村整備事業等事業評価技術検討会（第1回）を開催し、令和7年度事業着手予定地区である東近江地区について、事業の計画概要、新規地区採択チェックリストに基づく評価内容及び事業の効用に関する内容について審議していただいた。

質疑応答の概要は以下のとおり。

（委 員）

欠席されている委員への事前説明の際に、委員から出た意見について、事務局より説明願う。

（農政局）

主な意見は、「担い手の人数と、その年齢構成を教えてください」、「新設する土地改良区の運営体制と、その年齢構成について教えてください」の2点である。この点については、次回の技術検討会で説明予定としている。

（委 員）

●●への環境配慮はどのような対策か。

※希少種のため非表示

（農政局）

低騒音・低振動の機械を用いることとしている。

（委 員）

本日の現地調査で、担い手となる集落営農法人の話を聞き、専従者の確保や経営に

尽力していると感じた。事業を進める中で農地の集積を図り、経営基盤も強化されていくが、継続性の観点から単に生産基盤を整備するだけでは難しいのではないかと。

仮同意率はほぼ100%だが、どのような者から仮同意を得られなかったのか。

チェックリストに含まれている「みどりの食料システム戦略」であるが、本地区で取り組まれている「環境こだわり農業」とみどり戦略の最終目標である有機農業では取組内容に差がある。本地区では、今後の展開として「有機農業」をどう視野に入れているか。

（農政局）

東近江市では、八日市地域法人連絡協議会が設立され、受益地も含めた地域内の30の集落営農法人による法人間連携に取り組んでおり、将来の担い手の確保等の法人の体制強化が検討されているところ。

仮同意を得られていない者は、所在不明者である。

有機農業については、滋賀県では、オーガニック栽培用の水稻新品種である「きらみずき」の作付けを推進する計画があるので、本地区でも同様の取組を進めて行くことが考えられる。

（委員）

有機農業の取組内容についてもチェックリストに反映してはどうか。

（農政局）

ご指摘を踏まえ、チェックリストに反映する。

（委員）

担い手の農地集積が進むことによって、例えばスマート農業により少人数で農作業ができる反面、今まで培ってきた農法を伝える人が減るという側面もあり、経過を見ていくことが重要だと感じた。

（農政局）

棚田等では引き続き手植えが必要である一方、一般的な農業機械が全てスマート農業になることは考えにくい。地域の状況や経営の状況によって、文化として残していく農法も含めて、それぞれの農法が選択されていくものと思われる。

（委 員）

維持管理費節減効果がマイナスとなっているが、その理由は。

（農政局）

東近江地区は、区画整理と農業用排水の2つの事業効果を併せて算定している。農業用排水事業では、事業なかりせばの条件が用水供給のない想定となり、最低限必要な維持管理費のみとなる。一方、事業ありせばの条件では、用水管理や施設の電気代などがかかるため、その差分がマイナスの効果となっている。

（委 員）

本地区で土層改良は行うのか。

（農政局）

土層改良は現時点では考えていないが、一部において暗渠排水を整備する計画である。本地区は扇状地であり、全体的に排水性は良いが、調査の結果、排水性が良くない農地も確認されており全体の3分の1程度で暗渠を入れることとしている。

（委 員）

（株）東近江あぐりステーションは流通・販売に力を入れている印象を強く受けた。チェックリストの営農推進体制・環境に反映してはどうか。

（農政局）

ご指摘を踏まえ、チェックリストに反映する。

（委 員）

本地区では、輸出事業計画を策定しており、海外への輸出を考えているのか。

（農政局）

県全域を対象として米の輸出を計画しており、地区内のJAからも米が出荷されている。

（委 員）

滋賀県は海に面していないので、港までの輸送面で課題となっていないか。

（農政局）

東近江地区では、どちらかといえば、地理的条件として高速道路が近く、高速に乗れば大阪、名古屋などの大都市へのトラック配送が可能であることから、都市近郊への野菜の出荷を考えている。

（委 員）

単位当たり事業費の比較がされているが、事業費が高いとされる目安はあるのか。

（農政局）

特に目安はなく、近傍の実績から判断しているところ。

以 上